

富山新港火力発電所 2号機の運転停止について

平成28年7月28日
北陸電力株式会社

当社の富山新港火力発電所 2号機(定格出力：50万kW)において、本日(7月28日)出力上昇中に発電機の保護装置*が動作したことから、午前3時57分に運転が自動停止しました。

調査の結果、出力上昇過程において、運転員の監視およびその対応が不十分であったことが原因と判明しました。保護装置については動作が正常であったため、発電機本体などの健全性が保たれていることを確認しております。

なお、富山新港火力発電所 2号機の停止を受け、待機していた富山新港火力発電所 1号機を起動させたことから、本日の需給に影響はありませんでした。

今後、運転員の監視の徹底を行うなど再発防止に努めるとともに、電気設備の点検を確実に実施し電力の安定供給に万全を期してまいります。

以 上

※発電機の保護装置

発電機の異常を事前に検出し、機器を安全に自動停止させる装置。